

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 9. 11

下水道機構の『新技術情報』 第299号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

9/10の下水道の日にちなんでトイレの勉強を♪文系の私は物理が大の苦手ですが、先日「眠れなくなるほど面白い物理の話」という本を見つけました。身近な生活のことを物理で解説している本で、その中には水洗トイレ(サイフォン型)の仕組みについて易しく解説されており、楽しく勉強することができました。身近なことを例に解説することは広報のヒントにもなりますね。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第299号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・9/8(金)に第1回ストック活用型浸水対策等調査検討委員会を開催しました
- ・「低圧損型超微細気泡散気装置の導入マニュアル」の共同研究者募集について

■機構の動き

- ・今週は、9/14(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・コーヒーのこと (技術評価部 まる恵さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

- ・本日のゆいまーるは、お休みします m()m

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

- ・今週は更新がありません

■国からの情報

- ・9/8付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

●9/8(金)に第1回ストック活用型浸水対策等調査検討委員会を開催しました

本検討委員会では、ストック活用型浸水対策技術として実施している、(1)雨水管理支援ツール（アラート配信）に関する共同研究、(2)効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲートに関する共同研究、(3)降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する共同研究、の3テーマに、(4)ストキャスティック手法を用いた雨天時浸入水対策に関する共同研究、を合わせた4テーマについて審議されました。

(1)(2)のテーマについては2か年全6回、(3)(4)のテーマについては1か年全3回の検討委員会での審議を踏まえて、これらの技術が多くの都市で活用されるように、具体的な施策に反映されるようなマニュアル（技術資料）としてとりまとめる予定です。

●「低圧損型超微細気泡散気装置の導入マニュアル」の共同研究者募集について

下水道機構では低圧損型超微細気泡散気装置の導入マニュアル作成に関する共同研究について共同研究者を募集しています。

研究期間：平成29年10月～平成30年9月

募集期間：平成29年9月29日(金)正午まで

※詳細はこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2017/09/806a4b3a4d10095387673c4774f96771.pdf>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第362回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

日 時：平成29年9月14日(木) 16:00～17:00

講演者：(公財)日本下水道新技術機構 技術評価部長 宮入篤

テーマ：「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」

※参加申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○。

●コーヒーのこと（技術評価部 まる恵さんからの投稿です）

相も変わらず朝が苦手な私ですが、ここ数か月はちょっと早起きしてドリップコーヒーを淹れてマイポット持参で出勤しています。「美味しいコーヒーが飲みたい」と思ったのが一番の理由ですが、最近「コーヒーは体に良い」と見直されていることも理由のひとつです。

一頃前のコーヒーは、「子供は眠れなくなるから飲んじゃダメ」とか「カフェインは胃に悪い」などマイナスなイメージが多かったのですが、近年では全く真逆の評価で、コーヒーには多数の効用があることが立証されてきているそうです。

ここからは、識者のブログ等も引用して書かせて頂きます。

まず私的に一番訴えたいのは、コーヒーは「肝臓に良い」ということです。1日に1杯以上のコーヒーを飲む人は肝硬変発症のリスクを20%低下させた、という研究発表があります。

さらにコーヒーが二日酔い解消に役立つことも発表されていて、二日酔いの主な原因であるアセトアルデヒド、この厄介者を体内から排出するのに役立つのがコーヒーで、相応の水分と一緒に摂取すると、利尿作用も効果的に働いて浄化されるとか。(それで毎日ビールが美味しく飲めるわけです)

またコーヒーのカフェインは脂肪燃焼を促進させ、特に運動の20分~30分前にコーヒーを飲むことで、効率的なダイエットが期待できるそうで、他にもコーヒーの香りはリラックス効果・癒しの効果もあることが証明されていて、コーヒーは適度に嗜めば、健康にも嗜好にも最高最良の「正義の味方」といったところでしょうか。

見た目は黒色なコーヒーですが、実は、渋い味わいと癒しの香りとたくさんの効能を与えてくれる魅力ある飲み物☆

毎週配信されるこのメルマガのお供にいかがでしょう♪

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●本日のゆいまーるは、お休みします m()m

!(^!)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^)♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」の紹介

。○○。

国土交通省では、平成28年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信してい

ます。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。

アメッジ内の一部コンテンツにおいては、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要となります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。

登録画面 URL :

<http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.9.8付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

9/10は「下水道の日」です。

昭和36年に、当時の建設省と厚生省が下水道の普及を目的として制定した「下水道促進デー」が始まりで、平成13年に「下水道の日」に改称されました。9/10は、昔から農家の三大厄日で台風の襲来が多いとされる「八朔（はっさく）」「二百十日」「二百二十日」の一つ、「二百二十日（立春から二百二十日）」前後にあたり、浸水対策を担う下水道と関係が深い、ということで選定されたと聞きます。

下水道の日の前後には、全国各地で様々な催しも開催されます。普及も進み、時には「あって当たり前」のインフラになりつつありますが、様々な催し等を通じ、下水道の多様は役割を多くの方に知っていただく機会になればと思います。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2017年版-」説明会の開催について（(公社)日本下水道協会）

○ 講演会のお知らせ「集合住宅の排水設備更新・更生の今」（21世紀水倶楽部）

=====

○「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2017年版-」説明会の開催について（(公社)日本下水道協会）

下水道事業の経営環境が厳しさを増すなか、効率的な事業推進や適切な資産管理が求められており、更生工法は管路施設の長寿命化対策などを行う上で不可欠な技術となっています。

更生工法を採用するにあたっては、品質確保として適切に調査や設計、施工管理が

実施されることが重要となります。

「本ガイドライン」では、「旧ガイドライン」で残された12の課題の対応として「耐薬品試験の見直し」や「耐震性能の評価方法」等、新たに提起された課題の対応として「管きよ更生工事における資格制度の活用」や「既設管の鉄筋耐力評価手法」等をまとめるとともに、これまでの成果を検証し、確認・整理された事項についても盛り込み、全面的な改定を行っています。

つきましては、更生工法の品質確保の向上のため、「本ガイドライン」が技術者の実用書として活用されるよう、また全国の幅広い関係者の方々に聴講していただけるよう、講師として国土交通省や改定に携わった委員会委員の方々を招き、説明会を全国7会場にて、10月6日(金)と10月13日(金)の2回に分けて開催します。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

申し込み方法等については、以下に掲載していますのでご参照ください。

<http://www.gesuikyoku.jp/kousyukai/application/>

○ 講演会のお知らせ「集合住宅の排水設備更新・更生の今」 (21世紀水倶楽部)

21世紀水倶楽部では、平成25年に研究集会「排水設備の今日的課題」を実施しましたが、建設後年月を経た集合住宅が増えていること、多数の居室が1本の排水管につながっていることによる更新の難しさ、などから、今回、専門家をお呼びして研究集会を開催することとなりました。多数の方のご参加をお増しております。

テーマ：【集合住宅の排水設備更新・更生の今】

■開催趣旨

大都市を主にマンションなど集合住宅は増え続け、老朽化の問題も大きくなり、築30年を超える戸数も180万戸に達しようとしている。

集合住宅の構造物としての耐用年数は60年前後とされているが、最近はもっと長く持たせるようにすることが求められている。一方、給水管は20～30年、排水管は30年程度の耐用年数なので、給排水設備だけの更新や更生が必要になることが多い。

部分工事になること、工事費が高いこと、関連する住戸の水使用を止めなければいけないことなどその実施は難しい。また、排水管は給水管に比べ、工事実施に当たり難しい課題が多いようである。

既存配管の内面をライニングし直す更生、新しい管に取り替える更新などが考えられ、中古集合住宅の増加による需要が増えてきて、様々な工法が出てきている。

今回、集合住宅の排水設備の更新更生に焦点を当て、現状、問題、今後の方向について識者からお話しを伺う事としたい。

■日時：平成29年11月10日(金) 13:30から17:00まで

■会場：測量地質健康保険組合健保会館(JR池袋駅西口から徒歩5分など)

■プログラム：

1. 講演

集合住宅の排水設備更新の現状と課題

(一社) 日本建築設備診断機構 安孫子義彦 専務理事

排水管更新更生の実務とポイント

(有) マンションライフパートナーズ 柳下雅孝 代表取締役

排水管更生工法の技術と業界動向

NPO 日本管更生工業会 柿原 篤 技術部会長

2. 質疑討論

■ 申込方法 : NPO 21 世紀水倶楽部ホームページの参加登録フォームから

■ 交流会

研究集会終了後、交流会（別会場、参加費 4,000-4,500 円程度）を予定しています。

参加を希望される方は参加登録の際に交流会参加の欄にお書きください。

ご案内の詳細ページは

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

問い合わせ

<mailto:sympo-info@21water.jp> <sympo-info@21water.jp>

電話 : 03-5395-0533 (担当 : 押領司)

【参考情報】

◆ 下水処理場で消化ガス発電、1030 世帯分の電力に 〈8/31 スマートジャパン〉

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1708/31/news030.html>

◆ 経営難で業者放棄の汚水処理、13 年かけ代執行 〈9/5 読売オンライン〉

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20170904-0YT1T50118.html>

◆ 豪雨と河川 「流域全体」で洪水対策を 〈9/5 西日本新聞〉

<https://www.nishinippon.co.jp/nnp/syasetu/article/356126/>

◆ 園児ら 150 人笑顔 各務原「下水道の日」行事 / 岐阜 〈9/5 毎日新聞〉

<https://mainichi.jp/articles/20170905/dtl/k21/040/205000c>

◆ 富山市 下水汚泥処理の消化ガスで発電 2 年後に民営型で 〈9/7 毎日新聞〉

<https://mainichi.jp/articles/20170907/dtl/k16/010/265000c>

◆ ネットで河川の水位を確認、埼玉県がヤフーに画像提供

急な増水に備え「避難準備などに活用を」 〈9/7 埼玉新聞〉

<http://www.saitama-np.co.jp/news/2017/09/07/06.html>

◆ 中小河川に低価格の水位計開発 試験観測始まる 〈9/7 NHK NEWS ONLINE〉

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170907/k10011130681000.html>

発行元： 公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ： <https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>